

博物館探訪

やたて 【矢立 立



墨壺に筆を入れる筒をつけた筆記用具。旅が盛んになるにつれて発達し、意匠化した。江戸時代には、帯に差し込んだりして携帯した。また、近世以前、武将が陣中において籠（えびら）や鎧（よろい）の中に入れて携行した小さな硯（すずり）箱（矢立の硯）のこともさす。檜扇（ひおうぎ）の形をした容器で、墨壺には墨汁がこぼれないように艾（もぐさ）などを詰め込んだという。

編集後記

■表紙の写真は、上浦幌ひまわり保育園の親子レクレーションです。親子で玉入れ。「あれっ、届かないよ。」

■今年は日照時間が短くて、家庭菜園のきゅうりもトマトもなかなか育ってくれませんが、今年から植え始めた小松菜は食べきれないほど。家族が我家の犬にも与えたところ、喜んで食べてくれることを発見。散歩中に食している気に入りの葉っぱが秋には枯れてしまいますので、これなら保存してたまに分けてやれそうです。（井）

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族）お気軽にご連絡下さい。